

授業科目名	歴史学入門ゼミ	単位数	2単位
担当教員名	堀川 徹	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係 DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力) DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる(継続力)			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 身近なもの/できごとについて、歴史的文脈のなかで捉える。 【到達目標】 ・歴史の中にももの/できごとを位置づけ、理解・説明することができる。 ・問題意識をもって主体的に学ぶことができる。 ・適切な資料を用いて自身の考えを説明することができる。			
授業の概要 本ゼミナールは、教科書にとどまらない、身近なもの/できごとについて、歴史的文脈のなかで捉える実践的内容で、演習形式にて実施する。興味・関心のある身近なもの/できごとを対象として、その歴史について調べたものを発表してもらう。テーマとして、例えばアニメ、漫画、Eスポーツ、J-POPなどのポピュラー音楽など、中高の歴史では扱われないものを扱うことを想定している。			
授業計画 第1回:歴史的に捉えるとはどういうことか(講義)+発表のテーマ設定 第2回:資料収集および発表資料の作成。 第3回:資料収集および発表資料の作成。 第4回:資料収集および発表資料の作成。 第5回:自ら選択したもの/できごとに関する概要及び歴史的背景についての発表(1) 第6回:自ら選択したもの/できごとに関する概要及び歴史的背景についての発表(2) 第7回:自ら選択したもの/できごとに関する概要及び歴史的背景についての発表(3) 第8回:資料収集および発表資料の作成。 第9回:資料収集および発表資料の作成。 第10回:資料収集および発表資料の作成。 第11回:自ら選択したもの/できごとの影響及び歴史的意義についての発表(1) 第12回:自ら選択したもの/できごとの影響及び歴史的意義についての発表(2) 第13回:自ら選択したもの/できごとの影響及び歴史的意義についての発表(3) 第14回:発表資料の修正および追加の調査。 第15回:まとめ 科目修得試験			
スクーリングでの学修 ※スクーリングは第1回・第5回～第7回・第11回～第13回を実施する。 ※受講生の発表および質疑応答。受講生は、受講生数にもよるが本ゼミナールにおいて2回以上の発表を予定している。			
テキスト なし。初回授業のみ教員から資料を配布する。シラバス第5回～第7回、シラバス第11回～第13回は受講生が用意する発表レジュメが資料となる。			
参考書・参考資料等 適宜スクーリング内で紹介する。			
学生に対する評価 スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			